



今月の主な内容

- 湧別型学校教育の時代へ
- まちづくり懇談会
- 半崎美子さんが「チューリップ応援大使」に就任

今月の表紙

鬼は一そと一
商工会青年部による豆まかれ訪問

新たな湧別型学校教育の時代へ



本町2校目の義務教育学校が開校します

本町2校目の義務教育学校

4月に本町2校目となる義務教育学校「ゆうべつ学園」が開校します。これは、昭和48年に建設され50年が経過した湧別小学校の老朽化と、小中一貫教育の重要性が増していることを背景に、通学区域が同じである湧別小学校と湧別中学校を廃止して新たに義務教育学校を設置するものです。

義務教育学校とは？

義務教育学校とは小中一貫校の一種で、小学校から中学校までの教育課程を子どもたちの成長や発達に合わせ、9年間の一貫した指導を行う学校です。

ゆうべつ学園が目指す教育

「多様な人々と協働的に学び続ける力」を育成するために、児童生徒同士の学び合い、地域の方々や専門家との協働を進め、児童・生徒が主体となって学習することを目指します。

これまで大学との連携やタブレット端末を活用したICT教育の推進を行っており、湧別小学校・湧別中学校は新たな時代に求められる資質・能力を育む教育活動を推進しています。今後においても、9年間の一貫したカリキュラムにより多様な仲間と共に学び続ける子どもが育つ学校の創造を目指します。

すべての学校が義務教育学校に

平成30年に開校した芭露学園、4月に開校するゆうべつ学園に続き、上湧別地区においても小中一貫教育の環境整備を進めています。上湧別小学校、中湧別小学校、開盛小学校、富美小学校および上湧別中学校を廃止し、新たに（仮称）上湧別地区義務教育学校を令和7年4月に開校する予定です。

令和5年度から上湧別中学校の敷地に校舎の増築工事を行うとともに、令和6年度には現在の上湧別中学校校舎の改修を行うこととしています。

学校名・校章・校歌

湧別小学校と湧別中学校のPTA、学校運営協議会委員、地域の代表の方、校長と教頭による開設準備委員会で検討し決定しました。

学校名

湧別小学校児童・湧別中学校生徒を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに「湧別町立ゆうべつ学園」としました。

校章

児童生徒から提案されたデザイン案80点の中から、湧別小学校6年生（当時）の鈴木仁子さんが作成したデザインが選ばれました。

校歌

湧別小学校の校歌をそのまま採用し、湧別中学校の校歌は第二校歌として使用します。

鈴木仁子さん（湧別中学校1年）



湧別小と湧別中の校章を重ねたもので、一人一人の心と心をつないでいくという思いが込められています。小学生と中学生が一心になって、より良い学園を作っていきましょう。

輝きそよぐ草のまの
葉まらの鳥と道に
湧別くあ我等
その鳥のごとさわやかに
我等がつわはげみなん
出でまっにはゆオホーツクの
うしろのたぐり近くまで
湧別くあ我等
その海のごとにおやかに
我等が誠みかきなん
雪をしのげると松の
きびきびと保窓に
湧別くあ我等
その松のごとすみやかに
我等が力きたえなん

湧別町立ゆうべつ学園

概要



〒099-6414 湧別町錦町223番地
TEL:5-2410・5-2438 FAX:5-2418

湧別中学校の校舎を大規模改修し、一部を増築しました。

施設面積 6,983.41㎡

既存：第1校舎 3,269.72㎡ 第1体育館 1,195.90㎡
増築：第2校舎 1,792.27㎡ 第2体育館 725.52㎡

事業費 22億3,318万円

用地取得	3,026万円	設計	4,609万円
建築主体	14億4,190万円	電気設備	1億6,403万円
機械設備	3億8,117万円	外構工事	1億 345万円
工事監理	2,753万円	備品他	3,875万円

※第2体育館は令和5年度工事のため概算で積算

※本校は公立学校施設整備費負担金事業・学校施設環境改善交付金事業を活用し整備

増築された第2校舎の様子

- 第1校舎・第1体育館 (既存)
- 第2校舎・第2体育館 (増築)

後ろの席でも黒板が見やすいように、横に広がった教室

憩いの場となる図書コーナーと多目的スペース



多様な用途が期待される中庭

広く開放感のある廊下



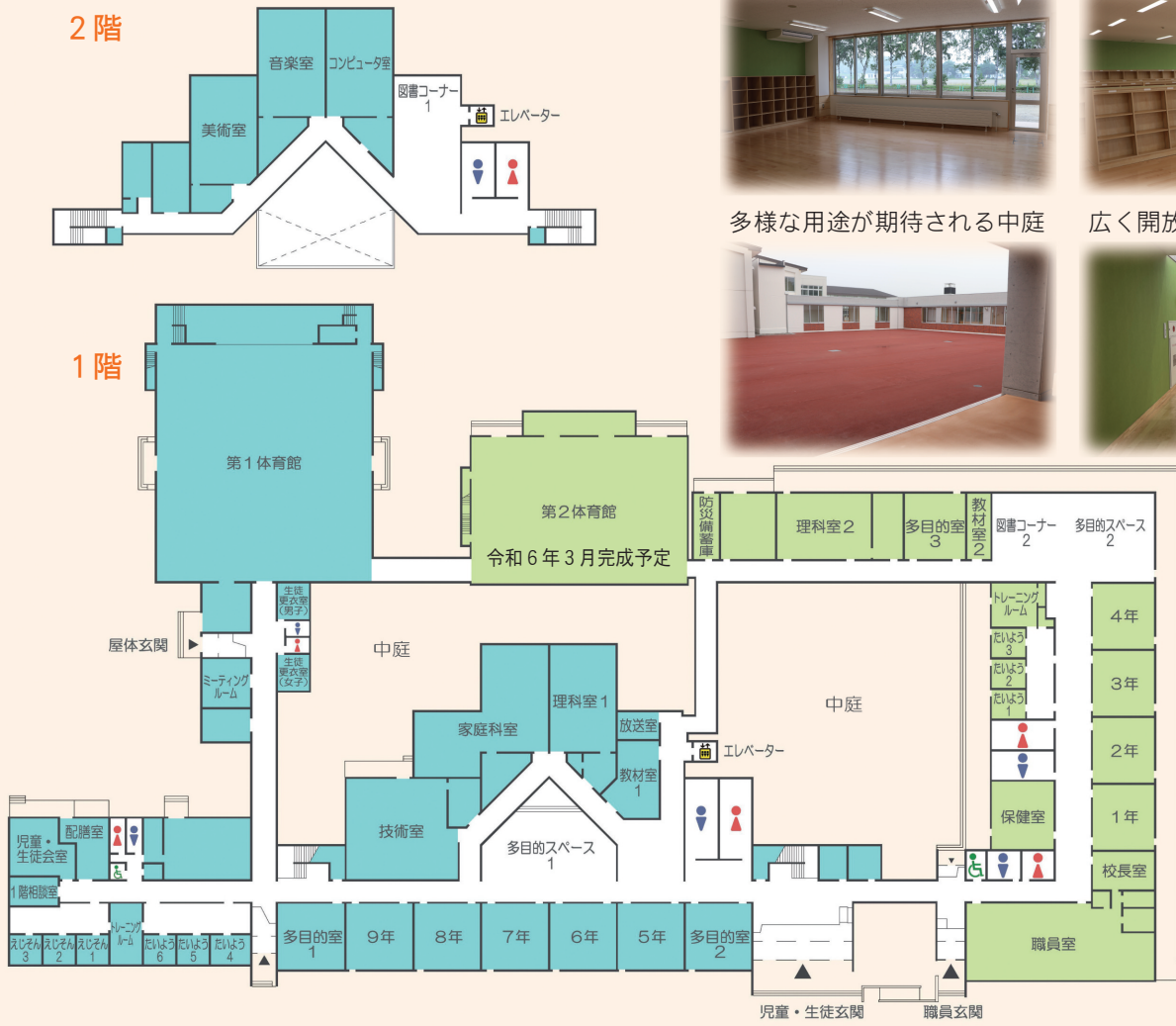
広く取られた水飲み場



各教室にエアコンを完備



温水洗浄便座を完備



校舎塔屋デザイン

学校名と一緒に9色で描かれている校舎塔屋のデザインは、「虹」とオホーツク海・サロマ湖の「波紋」をイメージしたもので、1年生から9年生の子どもたちの未来へ向かって広がり続ける夢と個性を表現しています。



校舎内覧会の開催

日時：3月19日(日)
午前9時～午後4時

申し込み不要。お好きな時間に来場し、自由にご覧ください。

ありがとう！ 湧別小学校・湧別中学校



～ 両校のあゆみ ～

- 明治30年 6月 湧小 湧別尋常小学校として創設
- 昭和22年 6月 湧中 湧別中学校開校式、信部内・登栄床分校を置く
- 昭和24年 3月 湧中 独立校舎新築移転
- 昭和35年 10月 湧中 校舎新築落成
- 昭和37年 4月 湧中 信部内中学校統合
- 昭和40年 4月 湧中 登栄床中学校統合
- 昭和45年 11月 湧中 体育館新築落成
- 昭和47年 5月 湧小 信部内・川西・東湧・登栄床・湧別の各小学校を廃止し、新たに湧別小学校を設置
- 昭和48年 12月 湧小 新校舎落成記念式典
- 昭和63年 12月 湧中 校舎改築落成記念式典

～今後の予定～

- 令和 5年 3月31日 湧別小学校・湧別中学校閉校
- 4月 1日 ゆうべつ学園 開校
- 4月 6日 ゆうべつ学園 第1回入学式挙行

昭和11年建設 (旧)湧別小学校



昭和48年 湧別小学校



昭和62年 湧別中学校



～ ゆうべつ学園への想い ～

一人一人が努力や成長を続けることができる学校に

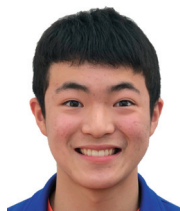


湧別小学校児童会長
山下 未来^{みく}さん (6年)

ピカピカのランドセルで校門をくぐった入学式、みんなで学び合った授業、一生懸命に走った運動会、心を一つに表現した学芸会、1年生から6年生まで仲良く協力して進めた清掃、感動の涙を流した卒業式、魅力あふれる湧別小で得たさまざまな学びは、私たちの大切な思い出で宝物です。

ゆうべつ学園でも、つちかってきた力を発揮し、お互いの良さを認め合い、学び合い、高め合いながら、一人一人が努力や成長を続けることができる学校をみんなで創っていかれたらと考えています。

1年生から9年生までの「縁」を大切に



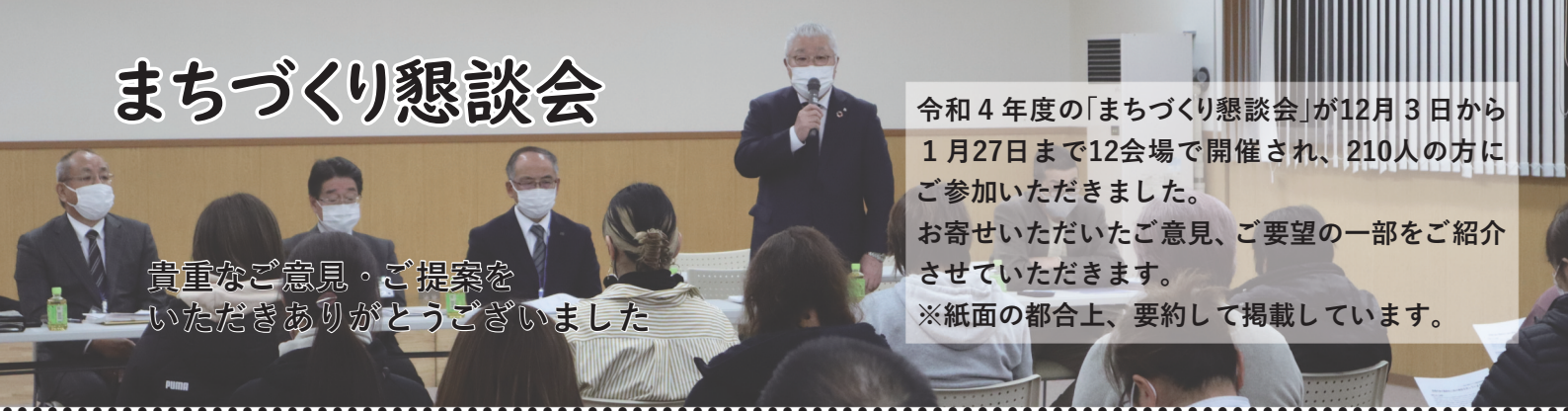
湧別中学校生徒会長
平田 千浩^{ちひろ}さん (2年)

今まで関わる機会が少なかった小学生と中学生の交流が増えていくこと、新型コロナウイルス感染症の影響で行えていない大人数での行事ができるようになっていくことが、とても楽しみです。

ゆうべつ学園の新たな伝統を築いていく初めの一年を、初代生徒会長として4月から私が引っ張っていきます。

生徒会のスローガンである「縁」を9学年全員で深めていくために、みんなで挨拶に取り組んで、挨拶が明るい学園を目指していきましょう。

まちづくり懇談会



貴重なご意見・ご提案を
いただきありがとうございました

令和4年度の「まちづくり懇談会」が12月3日から1月27日まで12会場で開催され、210人の方にご参加いただきました。
お寄せいただいたご意見、ご要望の一部をご紹介します。
※紙面の都合上、要約して掲載しています。

懇談会での刈田町長のあいさつ(抜粋)

- 物価高や飼料・肥料の価格高騰により経済活動、日常生活に支障をきたしている状況。町民の安全と健康を守るため、生活・経済支援に取り組んできた。
- 新型コロナウイルス4〜5回目の接種を行っているので、未接種の方は接種をお願いしたい。
- 町一番の課題は人口減少。若者(特に女性)の転出が多い。一次産業を強くしていくことを基本に雇用や観光の問題を考え直し、子育てのしやすい町を創っていかねばいけない。
- 4月に湧別地区に義務教育学校が開校し、上湧別地区も令和7年4月の開校に向け進めている。
- 町民との対話を基本に、前例にとらわれず、職員一丸となり元気な湧別を目指す。

まちづくりに対する考え方

地域の活性化について取り組んでいることを伺いたい。

答 本町は一次産業のまちで、農業・漁業・林業が一つにならなければ町の活性化にはならないと考えており、水産加工場の整備、最新機械を活用した農業の推進、バイオマス発電処理施設の整備に取り組んでいる。バイオマス発電処理

幼児・児童の遊び場

施設は、ふん尿処理時に発生する電力による売電や、熱を活用したハウス栽培などいろいろ活用ができるので、ふん尿をエネルギーとして考え活性化を図っていく。

町内に遊ぶ場所がほしい。屋内遊具があれば小さな子でも安心して遊べるのでは。

答 水と触れあつて遊べる場所がないことから、令和5年度に町民憩の広場の噴水を改修し、併せて遊具を整備することを計画している。

今後、義務教育学校化に伴い、小中学校の空き教室が出てくるので、再活用する方法として遊び場に活用できればと考えている。

役場庁舎の集約化

いつまでに結論を出すのか。

答 有利な借入れ資金を受けるためには、令和5年の早い時期に方向性を決めなくてはならない。検討委員会からの答申を受け町で検討をし、町民の皆さん、議会議員と協議していく。集約化となれば、いずれの庁舎も職員全員が入ることはで

住宅環境

きないので、増築か新築が必要となり経費がかかる。町の財源や国からの資金、事業を行うことにより町の財源はどくなるかなどをしっかりと説明しなければいけないと考えている。

所得制限があり公営住宅に入居できなかったため緩和できないのか。

答 公営住宅は低所得者の住宅対策としてあるもので、国の補助を受けて住宅建設をしている。所得制限は国の法律に沿っているものなので変更は難しい。高所得者でも特公賃の住宅は、空きがあれば入居できる状況となっている。高所得者が入居しにくい問題を解決するために、町では社員

災害時の対策

住宅や個人住宅を建設いただくための補助制度を整備しているのので、ご活用願いたい。

災害時にしっかりと周知できる方法はないのか。

答 12月の停電時には防災メール、防災スピーカー、広報車のほか、町ホームページなど複数の手法を用いて周知を図ったが、伝える方法としては自治会の皆さんが伝達していただくことが一番確実であり、自主防災組織をしっかりと整備しているところは連絡網等で伝達できていた。想定していないことがおきるのも災害だと思うので、自治会でしっかりと自主防災組織を設置していただきたい。

未来を見据えたまちづくりを目指すため、自由な懇談テーマで町民の皆さまと町長が対話する「まちづくり懇談会」を希望のあった自治会に限定して開催しました。

開催状況

月日	自治会	人数
12/3(土)	札富美	11
12/9(金)	川西・信部内・旭	14
12/9(金)	港町・曙町・緑町・栄町	18
12/10(土)	錦町	18
12/12(月)	開盛	17
12/13(火)	芭露	15
12/14(水)	4の1・4の2・4の3	23
12/18(日)	5の3	16
1/20(金)	富美	19
1/20(金)	南町	19
1/25(水)	登栄床	28
1/27(金)	上芭露	12
計	12会場19自治会	210

※東町・中町自治会は中止となりました。